

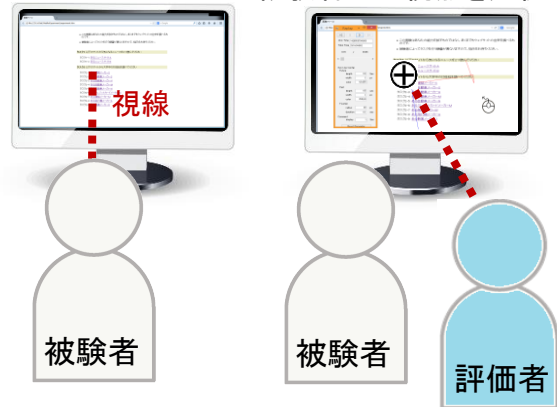
追従性を考慮した 注視点可視化手法の提案

研究内容

近年、視線を使ったインタビューが行われています。インタビューでは、被験者のある画面での注視点を記録します。その後、評価者が被験者の注視点を追従することでインタビューを行います。このインタビューでは、正確に注視点を追従することが必要です。しかし、注視点は不規則に動くので、追従することは困難です。

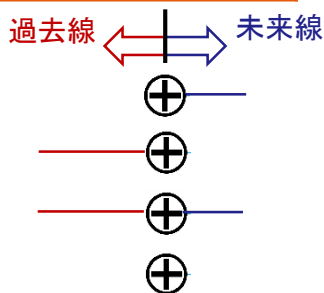
本研究では、注視点に新たな**可視化手法(未来線)**を付加することで追従性の向上を目指します。

被験者の注視点を追従



可視化手法のパターン

- 未来線のみ
- 過去線のみ
- 過去線と未来線
- 注視点のみ



どうやって評価する？

- 被験者のWeb閲覧時の注視点を記録
- 追従者が可視化した注視点の追従性を評価

今後の展望

- 未来線を用いることで追従しやすくなる
 - 追従時の見落としの減少が期待できる

担当 中下 航 (なかした わたる)

- ひとこと： 様々なことに興味を持ち、取り組んでいきましょう。